

## 目標達成計画

事業所： 満快のふる郷さくら東苗穂

作成日： 平成 23 年 2 月 18 日

市町村受理日：平成 23 年 2 月 21 日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に関する指針が明文化されておらず、本人、家族、職員が不安を感じている。	重度化や終末期に関する指針の明文化と把握により、本人、家族、職員が不安や負担なく、サービスを受けることができる。	ご家族より、具体的不安内容の聞き取りを行う。聞き取り内容をふまえて、提携医療機関と連絡調整し、ホーム（会社）としての指針を明文化する。その後、家族向け、職員向けに説明（会）を行う。	1年
2	6	身体拘束に関する内部研修、または日々のケアの中で教育は行っているものの、外部研修への参加の機会が少なく、フィードバックの場も設けていない。	全職員が“身体拘束をしないケア”への高い意識を持ち、且つ、継続して実践することができる。	外部研修への参加と、全体会議での職員フィードバックを行う。また、内部研修についても、全体会議での勉強会や事例検討を定期的（年4回）に行う。日々のケアの随時の指導も継続して行っていく。	1年
3	35	備蓄品のもれや、職員の救命救急処置に不安があり、災害時や緊急時に適切な処置、対応がとれない可能性がある。	災害時や、緊急時に適切な対応、処置をとることができる。	防火管理者を中心に、災害時備蓄品の期限管理と都度の補充を行う。また、現任者向けには年2回の防災訓練に併せ、消防による救命救急講習を受講する。	1年
4	49	外出、レクへの働きかけは行っているが、その方の意向に沿った外出の頻度が少ない。	その方の意向に沿い、外出することができる。	日頃行きたいと願っている外出先の聞き取りを行い、計画的に実行する。外出希望時にその日の同行が難しい場合は、3日以内に実現する。外出、レクに関しての家族への報告や、写真を同封（毎月）する。	1年
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。